

平成 27 年度
島根大学大学院人文社会科学研究科修士課程
法経専攻地域経済コース
(第 1 次) 入試問題

【情報経済論】
(私費外国人留学生入試)

注 意

- 1 問題紙は 1 ページ、解答用紙は 4 枚、下書き用紙は 4 枚である。
- 2 指示があつてから確認し、解答用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。
- 3 解答は、解答用紙に清書すること。解答は横書きとする。
- 4 問題紙、下書き用紙は持ち帰ること。

以下、2つの問題に答えなさい。

問題1

- (1) IT産業＝情報産業においては、情報処理能力の増大とこれと反比例したコストの減少によって収穫が逓増（限界費用が減少）すると言われている。このことはIT産業に規模の経済性による独占の成立をもたらすが、収穫逕減（限界費用増加）における独占の成立との違いを説明せよ。グラフも使って説明せよ。
- (2) 規模の経済性によって独占が成立するためには需要の拡大が併せて必要となる。情報産業においてこの需要の拡大が成立する根拠を説明せよ。グラフも使って説明せよ。

問題2

日本の携帯電話市場は典型的な「ガラパゴス市場」とも呼ばれている。

- ①この「ガラパゴス市場」が生まれた背景と、
- ②スマートフォンの登場によって生じている市場の変化について述べよ。